

考古学特別研究講座 報告書の成果から導き出されるもの①「三浦半島の考古学」

概要：これまでに行われた発掘調査成果から、三浦半島の弥生時代と中世の歴史像を明らかにします。

当日は報告内容に合わせた遺物の陳列・解説も行います。

日時：9月14日（土）受付開始（午前の部）9：30～（午後の部）13：00～

場所：神奈川県埋蔵文化財センター 3階研修室

京浜急行線「黄金町駅」から徒歩13分 / 市営地下鉄「阪東橋駅」から徒歩7分

料金：無料 / 定員：午前の部・午後の部 各80名（応募者多数の場合は申込先着順）

※詳細は決定次第、チラシ・当財団ホームページ等でお知らせいたします。

かながわ考古学財団20周年公開セミナー 『神奈川の発掘調査成果にみる考古学研究の転換点』

概要：20周年を迎えた当財団の記念行事の一つとして実施する公開セミナーでは、当財団のおもな調査成果を紹介するとともに、愛知学院大学 白石浩之 教授に記念講演を頂きます。

日時：10月27日（日） 10：00～

場所：県民共済みらいホール

JR根岸線「桜木町」駅下車 徒歩約3分

横浜市営地下鉄「桜木町（県民共済プラザ前）」駅下車 徒歩約4分

みなとみらい線「みなとみらい」駅下車 徒歩約5分

料金：無料 / 会場定員：300名（申込不要 当日先着順）

※詳細は決定次第、チラシ・ポスター・当財団ホームページ等でお知らせいたします。

かながわ考古学財団20周年シンポジウム 『海浜型前方後円墳の時代』

概要：20周年を迎えた当財団の記念行事の一つとして実施するシンポジウムでは、元国立歴史民俗博物館 広瀬和雄 先生にご講演いただくとともに、専門家による事例紹介と討論を行って古墳時代前期の世界を探ります。

日時：11月16日（土） 10：00～

場所：県民共済みらいホール（交通案内は上欄と同じ）

料金：無料 / 会場定員：300名（申込不要 当日先着順）

※詳細は決定次第、チラシ・ポスター・当財団ホームページ等でお知らせいたします。

その他の行事

平成25年度 第2回考古学講座

概要：神奈川県が主催する考古学講座（第2回）では、縄文時代の水場遺構をテーマに、当財団が実施した西富岡向畑遺跡の発掘調査で発見された縄文時代の水場遺構の成果を中心として、調査課新山が講師を務めます。

日時：7月15日（月祝） 13：30～15：30

場所：かながわ県民センター 2階ホール

料金：無料

定員：260名（往復はがきでの事前申込 ※7月5日必着）

※詳細については神奈川県埋蔵文化財センターにご確認ください。

平成25年度 平塚市遺跡調査・研究発表会

概要：平塚市が主催する市内遺跡の発掘調査・研究成果の発表会です。

発表の一つでは、当財団が実施した真田・北金目遺跡群の調査成果について、調査課天野が発表者を務めます。

日時：8月31日（土） 13：00～16：30

場所：平塚市青少年会館 2階集会室

料金：無料

事前申込：不要

※詳細については平塚市教育委員会にご確認ください。

発掘帖バックナンバーはホームページ (<http://www.kaf.or.jp>) からダウンロードできます。

※かながわ考古学財団は2011年4月1日より公益財団法人に移行しました。

お申し込み
お問い合わせ

（公財）かながわ考古学財団 野庭出土品整理室
〒234-0056 横浜市港南区野庭町1660 E-mail: fukyu@kaf.or.jp
TEL: 045-842-9888（平日8：30～17：15） FAX: 045-842-9904

※当財団の普及事業の一部には、文化庁の国宝重要文化財等保存整備費補助金を活用しています。

考古学財団発掘帖

通巻
19号

かながわ考古学財団情報誌

平成25年7月1日発行



相川村役場古写真



厚木市

とだこやなぎ
戸田小柳遺跡

本遺跡は、厚木市酒井に所在し、小田急線本厚木駅から約3.6km南の相模川右岸の沖積微高地（標高約14～15m）に立地しています。新東名高速道路建設に伴い、平成24年12月から調査を開始しています。これまでの調査で、弥生時代、古墳時代、奈良・平安時代、中世、近世、近代にかけての幅広い時代の遺構と遺物が見つかっています。注目されるのは、旧相川村役場と考えられる建物基礎が発見されたことです。役場は道路拡張によって昭和12年にこの地に移転し、厚木市に編入される昭和30年まで利用されていました。「相川村事務報告書」という文献に、役場建物の写真が掲載されており、当時の様相が窺われます。

目次

- 発掘現場・出土品インフォメーション
 - ・厚木市：戸田小柳遺跡
 - ・秦野市：東田原象ヶ谷戸遺跡
- こんなものでたよ
 - ・小原台堡塁跡 ―明治時代の煉瓦―
- 行事案内
 - ・年間スケジュール
 - ・7～11月までに実施する案内詳細

設立20周年記念ロゴマークについて

かながわ考古学財団は、今年度で設立20周年を迎えました。今年度は特別シンポジウムなどの記念行事を企画しております。その一環として、下に掲載している記念ロゴマークを作成しました。また、当財団の活動をよりご理解頂き、親しんで頂けるよう、新たなイメージキャラクターも作製しています。新キャラクターは10月に公開予定です。乞うご期待！



（公財）かながわ考古学財団

〒232-0033 横浜市南区中村町3-191-1

☎ 045-252-8689 FAX 045-261-8162 URL <http://www.kaf.or.jp>

発掘現場・出土品整理 インフォメーション

わたしは川尻中村遺跡(相模原市)のはちまき土偶『はっち』です。
発掘調査や出土品整理中の遺跡の紹介をします。

東田原象ヶ谷戸遺跡

戸田小柳遺跡

東田原象ヶ谷戸遺跡（ひがしたわらそうがやといせき）

(所在地)	秦野市	(時代)	近世、縄文時代	(調査期間)	2013年3月～9月予定
-------	-----	------	---------	--------	--------------

本遺跡は、秦野駅から北北東およそ3.5kmに位置し、金目川の右岸にある標高約205～215mの緩斜面に立地します。現在は東に開けた土地を利用して段々畑が展開していますが、江戸時代の耕作跡なども発見されました。

調査区東側の①②区では、縄文時代の地層中から集石と呼ばれる遺構が5基発見されました。集石遺構は、十数点から200点以上の礫がまとまって出土し、規模も様々でした。集石を構成する礫の大半は焼けており、しばしば炭化物が混ざっていることから、蒸し焼き等に使われた当時の調理施設と考えられています。

今回発見された集石は、共伴する土器等から、おそらく縄文時代早期(約9000年前)の遺構と考えられます。

こんなものでたよ

【小原台堡塁跡 ー明治時代の煉瓦ー】

横須賀市に所在する小原台堡塁跡は、明治時代の軍事遺跡です。発掘調査の結果、大規模な壕や地下構造物などが発見されました。地下構造物には、壁の構築材として煉瓦が多数使われています。これらの煉瓦一つ一つには刻印が押されていました。刻印は桜の花をモチーフにした5種類が確認されています。写真にある大輪咲きの単弁桜のほか、八重桜や薔をカタどったものもあります。

刻印は煉瓦製造時の検印などと考えられています。今回発見された煉瓦は、いずれも小菅集治監(現在の東京拘置所の前身)で製作されたものであるといわれているものでした。調査成果から、堡塁築造に際して煉瓦が小菅集治監から一元的に供給されていた様子がわかってきました。

ちなみに、これらの煉瓦は手抜き成形煉瓦と呼ばれるものです。手抜きといっても、型に押し込んだ粘土を手で抜いて成形した、ひとつひとつ手作りの1点ものです。決して手抜きして作られたものではありません！

刻印や色味、ゆがんだ形など、この時期の煉瓦が何とも可愛らしく感じてしまうのは私だけでしょうか！？

行事案内

平成25年度 年間行事スケジュール(平成25年7月現在)

6月	8(土)～	発掘された日本列島展2013 関東考古学フェア スタンプラリー	11月	16(土)	かながわ考古学財団20周年公開シンポジウム
7月	13(土) 15(月祝) 29・30(月・火)	関東考古学フェア 遺跡発表会 講師調査課新山(第2回考古学講座／県) 体験考古学(神奈川県委託事業)	12月	4(水) 8(日)	発掘調査成果展示会(～8まで) 発掘調査成果発表会
8月	31(土)	講師調査課天野 (H25年度平塚市遺跡調査・研究発表会)	1月	13(月祝)	三都県公開セミナー (神奈川・埼玉・東京／財団)
9月	14(土)	考古学特別研究講座 『報告書の成果から導き出されるもの①』	2月	21(金)	伊勢原市考古資料展(～23まで)
10月	27(日)	かながわ考古学財団20周年公開セミナー	3月	15(土)	伊勢原市発掘調査報告会

※現在企画中の行事も当財団HP等で随時公開予定です。

関東考古学フェア スタンプラリー

概要：会期中、関東各都県の埋蔵文化財センターや資料館などでイベントを開催します。
当財団の行事など、各会場に設置されたスタンプを集めると、抽選で景品がもらえます。
※詳細は全国埋蔵文化財法人連絡協議会サイト(<http://www.zenmaibun.com/>)でご確認ください。

関東考古学フェア 遺跡発表会「発掘された関東の遺跡2013」

概要：関東考古学フェアのイベントの一つとして、遺跡発表会を実施します。
発表の内、神奈川県内の遺跡として、当財団調査課天野が、伊勢原市上粕屋・石倉中遺跡における古代～近世以降の調査成果を発表します。

日時：7月13日(土) 10:30～14:40(受付開始10:00～)

場所：東京都江戸東京博物館 会議室

料金：無料 / 申込：不要

発掘された日本列島展2013

概要：列島展は特に注目された出土品を中心とした展示会で全国を巡回します。
展示会場では関東考古学フェアのスタンプが押せます。

会期：6月 8日(土)～ 7月25日(木) (東京都江戸東京博物館)

※これ以降は全国を巡回

場所：東京都江戸東京博物館
JR総武線 両国駅西口下車 徒歩3分
都営地下鉄大江戸線 両国駅(江戸東京博物館前) A4出口 徒歩1分

※料金等詳細については東京都江戸東京博物館にご確認ください。

体験考古学(中・高校生対象) 神奈川県委託事業／伊勢原市教育委員会協力

概要：遺跡の発掘とはどんなものか、実際に発掘現場でレクチャーを受け、体験して頂くイベントです。
この他、出土した土器の泥落とし・拓本作成体験など、実際の土器や石器に触れる企画も行います。

会 期：7月29日(月)・7月30日(火) 各10:00～16:00
※両日とも同じ内容です。
※悪天候の場合は発掘作業体験を別内容に変更することがあります。

場 所：(公財)かながわ考古学財団西富岡・向畑遺跡発掘調査事務所(伊勢原市西富岡55)
小田急線 伊勢原駅北口から神奈川中央交通バス「専修大学入口」バス停下車徒歩1分

応募人数：考古学に興味のある中学生・高校生各日10名程度(要申込)
※応募多数の場合は日程調整、または抽選となります。

参加費：無料

応募方法：往復はがきに
行事名・希望日・住所・電話番号・氏名・学校名・学年を明記し、
(公財)かながわ考古学財団野庭出土品整理室まで

しめきり：7月12日(金) 消印有効